

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2016年度 助成者)

作成日 2016年9月1日

氏名	安達 大揮
研修先機関名	<u>Hawaii Tokai International College</u>
研修期間	2016年8月15日(月)～20日(土)
大学名 学年	北海道大学 6年

始めに、医学部夏期集中医学英語研修に参加する機会を頂き大変感謝しています。この5日間はとても濃厚で、あっという間でした。この5日間のスケジュールは主に、午前中に問診やケースプレゼンテーションの基本を学んだり、倫理問題について考え、午後には、ハワイの病院や研究施設や医療施設の見学を行い、そして夜は、ケーススタディを行ったり、ハワイの医学生相手に問診を行ったり、ハワイで働いている医師の方々から問診したケースについてケースプレゼンテーションを行ったり、といった朝早くから夜までぎっしりと詰まった大変濃厚な内容でした。

午前中の講義は、問診やケースプレゼンテーションの基礎を学ぶにはとても良い講義でした。実際に問診やケースプレゼンテーションをした経験はありましたが、この講義を受けたことによって、外してはいけないポイントや強調すべきポイントやコツについてなどを学ぶことが出来て、自分のスキルが整理され磨きがかかったと思います。また、ケースプレゼンテーションを皆の前で発表するという緊張感のある機会が毎日与えられていたのもとても有意義でした。実際、上級医との一対一ではうまく発表できても大勢の前では緊張してしまうということもあるので、心理的負荷をかけたトレーニングによって自信がついたと思います。また、発表内容、発表姿勢、声の大きさやトーンや間の取り方、アクセント、など実際の発表において重要で不可欠なスキルについても率直にフィードバックを頂けたので、自分の改善点が明確になり、それを次の日の発表に生かすことで、日々成長していったのが実感できました。

午後は、様々な施設見学や観光も行うことが出来ました。ハワイの医療施設を見学したり、職員の方々からお話を伺うことによって視野が広がったと思います。海が見える診察室や研究施設は大変魅力的でした。

夜のケーススタディでは、午前の講義で学んだ技術をグループワークの中で発揮することで、総合力がアップしたと思います。また、ハワイで働いている医師の方々から直接お話を頂いたり、アドバイスを頂くことで、自分のなすべきことが明確になりました。

このプログラムで一番良かったのは、ハワイの医学生に問診を行いケースプレゼンテーションの指導を受けたことです。実際にハワイの医学生との交流はとても新鮮で楽しかったです。日本にいる時はあまり聞くことが出来ない細かいアドバイスを学生からもらったり、ハワイの医学生の生活を聞くことによって、成長することが出来ました。ハワイの医学生は、とても勉強していて本当にすごいと思いました。またハワイで働いている先生方にケースプレゼンテーションを行い、そのフィードバックを貰うのは、このプログラムでしか出来ず、大変貴重で有意義なものでした。実際に働いている医師の方々から頂くアドバイスは、的確で鋭いものばかりで、自分の甘さを正してくれる貴重なものでした。フィードバックをもとに日々自分のケースプレゼンテーションを改善していくことで、初日と最終日には比べ物にならない程成長できました。

今回このプログラムに参加することで、短期集中的にトレーニングを反復することで、今までの経験をさらに生かし、確実にプレゼンテーション能力を向上させることが出来ました。今回学んだことをこれからの自分に生かしていきたいと思います。このプログラムに参加に出来たことを誇りに思います。この貴重な機会を頂き本当にありがとうございました。